

広報あびこ

NO. 81

36. 2. 1号

千葉県我孫子町役場
TEL. (あびこ) 42

毎月 1日 16日 発行 1部 2円
昭和34年7月30日 第三種郵便物認可

目次

- 昭和34年度議会計決算のあらまし 2~4
- 県行政の苦情相談..... 4
- 新町建設 5カ年実施計画まとまる... 5
- 手賀沼土地改良区総代選挙は無投票... 5
- 引揚者給付金の請求は5月16日まで... 5
- 火災は不注意と油断が禁物..... 6
- 全町一斉にねずみ退治... 6



出初式最大の見もの放水式

(本文5ページ参照)

広報あびこ

(2)

第2表 町税の科目別収入状況

科目別	予算現額 (千円)	調定額 (千円)	収入済額 (千円)	収入割合% 予算対調定対
町民税	28,139	33,730	29,139	103.5
固定資産税	37,150	46,609	35,317	94.6
消費税込	7,900	8,334	8,334	105.5
電気ガス税	3,950	5,099	5,099	129.1
その他	735	1,279	731	99.5
合計	77,874	95,051	78,620	101.0

(注) 調定額に対する収入割合 82.7%ということ、滞納が17.3% (1664万円)もあるということです。滞納をなくしてより多くの事業が行なえるようご協力ください。

第3表 おもなる事業(単位円)

事業名	内容	金額
書庫建設	書庫新築工事	488,000
消防整備	4輪自動車1台購入 小型動力ポンプ1台購入 ホース40本購入 警鐘3個購入 貯水池10個、火の見1基、器具置場1棟の建設、その他	2,919,000
道路整備	トヨタ5t積トラック1台購入 パイプレーションローラ購入 U字溝型枠30個購入によるU字溝の自家製造 布佐橋改修工事 道路改補修および砂利など原材料の購入、その他	6,253,000
失業対策	幹線道路の補修 補修延長 15,785m	3,815,000
学校整備	湖北小の3教室増築工事 3小の4教室増築工事、その他	7,367,000
住宅建設	第1種木造町営住宅建設 10戸 第2種木造町営住宅建設 15戸	7,535,000

第1表 会計別決算総括表(単位円)

会計別	区分	予算現額	決算額
一般会計	歳入	114,694,300	114,449,259
	歳出	114,694,300	106,403,988
	差引残金	—	8,045,271
特別会計 我孫子公益 質屋事業	歳入	3,766,000	2,634,970
	歳出	3,766,000	2,326,515
	差引残金	—	308,455
特別会計 布佐都市 計画事業	歳入	2,932,000	1,316,678
	歳出	2,932,000	815,532
	差引残金	—	501,146
特別会計 清掃事業	歳入	4,837,000	4,744,508
	歳出	4,837,000	4,404,376
	差引残金	—	340,132
特別会計 公営住宅 建設事業	歳入	8,755,300	8,707,515
	歳出	8,755,300	8,631,970
	差引残金	—	75,545
特別会計 国民健康 保険事業	歳入	16,433,000	15,816,325
	歳出	16,433,000	13,705,701
	差引残金	—	2,110,624
特別会計 古屋簡易 水道事業	歳入	135,500	103,746
	歳出	135,500	42,372
	差引残金	—	61,374
総合計	歳入	151,553,100	147,773,001
	歳出	151,553,100	136,330,454
	差引残金	—	11,442,547

昭和34年度の各会計決算は第一表のとおりで、予算執行はおおむね計画どおりです。私たちの町の一般会計は、昭和三十四年度の各会計決算は、さる十二月二十二日に認定されましたので、その内容のあらましをグラフ等によって簡単にお知らせいたします。

町の行政は、町民の福祉向上をめざして行われていますが、それは無駄のない財政の執行によって実現されるべきです。

昭和34年度の各会計決算は、さる十二月二十二日に認定されましたので、その内容のあらましをグラフ等によって簡単にお知らせいたします。

どのような財源で成り立っているかといえますと、第四表のようになっています。このうち町税の各科目別収入状況は第二表のとおりです。

税金負担状況はどうかといえますと、第八表に示すとおりです。

これらの入つてきたお金はどのように使われているかといえますと、第五表のようになっています。第四表、第五表における各科目の総額に対してその占める割合はどのようになっているかといえますと、第六表、第七表に示すとおりです。また、町民一人当たりの町税負担状況はどうかといえますと、第九表に示すとおりです。

この町民一人当たりの町税負担額と歳出額を年度別に比較してみますと、第十表のようになります。

なお、昭和三十四年度における歳出総額に占める投資的経費の割合は三%で前年度に比し三%の増となっています。この投資的経費のうち、おもなるものは第三表のとおりです。

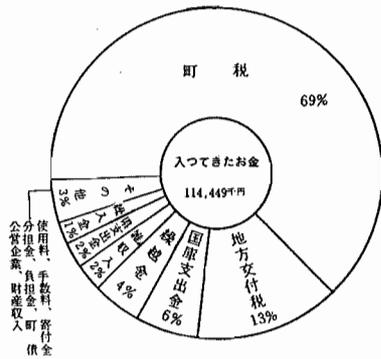
町民一人当たり二、八九一円を負担していることになり、町民一人当たりの歳出状況はどうかといえますと、第九表に示すとおり、町民一人当たり三、九一三円となっています。この町民一人当たりの町税負担額と歳出額を年度別に比較してみますと、第十表のようになります。

第九表に示すとおり、町民一人当たり三、九一三円となっています。この町民一人当たりの町税負担額と歳出額を年度別に比較してみますと、第十表のようになります。

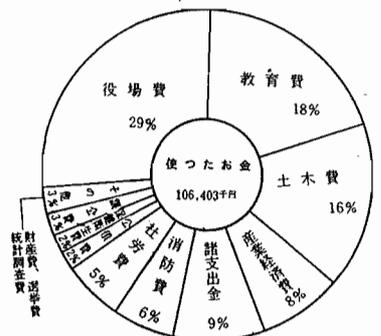
昭和34年度決算報告

道路整備を重点に施行
健全財政を堅持

第6表 歳入における各科目の占める割合



第7表 歳出における各科目の占める割合



第4表 私たちの町はこのような財源で成り立っている

科目	金額	割合
町税	77,874	101.0%
地方交付税	14,890	(106.4%)
公営企業及び財産収入	381	(1,230.8%)
分損金及び負担金	984	(69.4%)
使用料及び手数料	815	(106.1%)
国庫支出金	6,769	(99.3%)
県支出金	2,076	(94.2%)
寄付金	1,101	(78.9%)
繰入金	1,532	(100.0%)
繰越金	4,045	(100.0%)
雑収入	2,747	(97.4%)
雑取	2,500	(40.0%)
町債	1,000	(40.0%)

第5表 私たちの税金などはこのように使われている

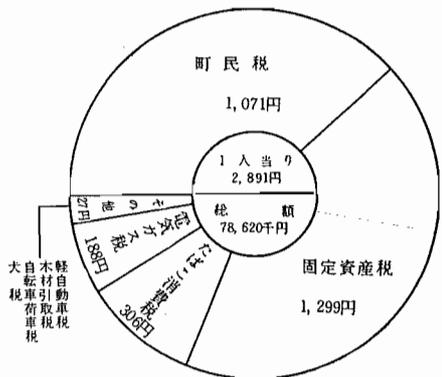
科目	金額	割合
職員費	3,091	(99.7%)
役場費	31,093	(98.9%)
消防費	6,131	(97.2%)
土木費	16,872	(98.2%)
教育費	24,376	(78.4%)
社会及び労働福祉費	4,836	(94.5%)
保健衛生費	2,118	(88.5%)
産業経済費	9,109	(95.7%)
財産費	1,798	(95.7%)
統計調査費	298	(89.7%)
選挙費	1,122	(77.3%)
公債費	2,836	(91.7%)
諸支出金	10,360	(95.2%)
予備費	84	(0)

県行政に対する苦情相談

2月16・17日、役場会議室で

県では今回次のように県行政全般についての苦情相談に応ずることになりました。これから、県の仕事についてご不満、ご不審、お困りのことがありましたら、ご遠慮なくお申しください。苦情相談の受付を担当するのは監察室です。この監察室は、県行政に関連のあるすべての業務についてそれが適正に能率的に民主的に行なわれているかどうかというのを常に監察して、行政の改善と明朗化をはかっています。その仕事の一部として、一般の方から役所の仕事についての苦情の申出を受け、ご相談に応ずるものです。これまでも、皆さまの苦情やご意見があつても、それを受け付ける窓口を身近になかったため、ご不便やお困りのこともあつたことが存じます。そこで監察室が

第8表 町民1人当りの町税負担状況



警察官の募集

千葉県では、次のとおり警察官を募集していますので、ふるってご応募ください。詳細については、より詳しいの派出所、駐在所等にお問い合せください。

▼受検資格 昭和11年4月2日から昭和16年4月1日(高校卒業業者またはこれと同等の者)昭和18年4月1日(昭和18年4月1日)までに生まれた男子で、学歴は問いませんが、高校卒業程度の実力を有する者。

▼町人口 (昭和35年12月31日現在)
男 13,579人
女 14,081人
計 27,660人
世帯数 5,691

第10表 1人当り税負担額と歳出額の年度別比較

年度	1人当り税負担額	1人当り歳出額
昭和30年度	2,079円	3,211円
昭和31年度	2,266円	3,422円
昭和32年度	2,486円	3,453円
昭和33年度	2,781円	4,120円
昭和34年度	2,891円	3,313円

第9表 町民1人当りの歳出状況

